

## 事業所における自己評価結果

事業所名		生活クラブ風の村あかとんぼ作草部					
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制整備	1	利用定員が活動室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			人数が大きい時はベッドや車椅子を片付けてできる限り活動スペースを広く取っています。天候等によっては屋外（ベランダ・公園等）を有効活動しています。	
	2	利用定員や利用者の状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○		限られた人員の中でできる限り安全面を確保できるよう配置を工夫しています。	曜日固定勤務の職員が多く、また経験の浅い職員も数名いるため、ケア内容を十分に把握・対応しきれないケースがありました。次年度は体制も変わるため、この点を改善します。
	3	事業所内は利用者が主体的に過ごせるような工夫（配置・掲示等）がなされているか。また、事業所の設備等は障害特性に応じてバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか。	○			バリアフリーという点では対応できています。また、個別支援に配慮した環境整備（おもちゃ等を片付け場所・高さ）を進めました。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、利用者の活動に合わせた空間となっているか。	○			清掃・消毒に力を入れてきました。	片付け場所に適切に戻すことができず雑然としている時がありました。次年度は更に整理・整頓を心掛けます。
	5	必要に応じて、利用者が個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			必要に応じてフロアだけではなく建物全体の共用スペースも活用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			PDCAサイクルを意識した事業所運営を行っています。	会議で決めたことが徹底されないことが間々ありました。次年度はこの点に留意して運営します。
	7	利用者向け評価表により、家族等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			ご家族向けのアンケート、家族交流会、送迎時等の機会にご意見を伺っています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			職場会議（月1回）、日々の出勤時等に職員の意見交換して業務改善できるよう心掛けています。	取捨した意見がうまく業務改善に繋がらない（徹底されない）ことがありました。次年度の課題として取り組みます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○			法人内の他障害児者サービス事業所が事業所運営状況をチェックし、改善に繋がっています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○			法人主催研修、事業所が入っている建物全体での研修、外部研修など、様々な研修を開催しています。	
適切な 支援の 提供	11	こども支援の事業においては、適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			年度内に作成・公表します。	
	12	個々の利用者に対してアセスメントを適切に行い、利用者や家族等のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	○			アセスメント→個別支援計画作成→モニタリングのサイクルを適切に回しています。	活動充実につながるような充実したアセスメントが必要です。次年度の課題として取り組みます。
	13	個別支援計画を作成する際には、児発管・サビ管だけでなく、支援に関わる職員が共通理解の下で、利用者の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			モニタリング・新計画の方向性に関する意見交換は事業所全体で取り組んでいます。	日々の活動を、個別支援計画を十分に意識して行えていません。次年度の課題として取り組みます。
	14	個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		○		活動会議や音楽療法（講義日）の中で、活動と個別支援計画内容がリンクできるように話し合いました。	日々の活動を、個別支援計画を十分に意識して行えていません。次年度の課題として取り組みます。
	15	利用者の適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		○		職員が日々使うファイルにアセスメント表を格納し、いつでも見られる状態にしています。	活動につながるような充実したアセスメント表が必要です。次年度の課題として取り組みます。
	16	こども支援の事業においては、個別支援計画には、ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			各領域に適した計画作成を行っています。	各項目の職員理解が不十分です。次年度は理解を深められるよう研修を行います。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			活動会議の中で意見交換をしながら計画しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			季節を意識したプログラム作成を活動会議の中で行っています。	

	19	利用者の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			利用者個々の状態及びご家族の希望を考慮しながら個別支援計画を作成し支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		○		放課後利用日は毎日朝礼を行なってその日の流れ等を確認しています。	終日利用時は出勤時間が人によって異なり朝礼の開催が困難なため、異なる方法で情報共有できるよう工夫が必要です。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		○		放課後利用日は毎日夕礼を行なってその日の振り返りを行なっています。	終日利用時は勤務時間が人によって異なるため、異なる方法で振り返りできるよう工夫が必要です。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。		○		毎日各職員が対応したことや気づきを記録しています。	記録した内容がケアの改善に活かされていません。記録のデジタル化を進めて改善に繋がります。
	23	定期的にモニタリングを行い個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			6か月に1回全職員でモニタリングに取り組んでいます。	
関係機関や保護者との連携	24	相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その利用者の状況をよく理解した者が参画しているか。	○			児童発達管理責任者が対応しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		必要に応じて医療機関や学校と連携・情報共有しています。	相談支援員との連携が不十分です。次年度の課題とします。
	26	子ども支援の事業においては、併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		新1年生受入れに際しては児童発達支援事業所から情報をいただき、支援に活かしました。	併行利用している事業所との情報共有が不十分です。次年度、無理のない範囲で情報共有に努めます。
	27	子ども支援の事業においては、就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		連携しようとしたが、その機会なく利用が終了したため連携せずに終わりました。	
	28	子ども支援の事業においては、地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		○		必要に応じて連携しますが、対象となる利用者は現状ではいらっしゃいません。	
	29	子ども支援の事業においては、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			地元の公園等へ遊びに行き、地域のこどもと交流しています。	
	30	日頃から利用者の状況を家族と伝え合い、課題（発達状況・健康状態等）について共通理解を持っているか。	○			送迎時等の機会を活かしてお互いの情報を共有し、共有理解できるよう努めています。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			ご家族に対して研修やイベント情報を提供しています。	
保護者への説明等	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			今年度は個別支援計画書が新書式に移行されたため、全利用者に対して個別に説明を行いました。	
	33	個別支援計画を作成する際には、利用者や家族の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			モニタリング面談の中で意向を確認し、必要に応じて計画作成に反映しています。	
	34	個別支援計画書を示しながら支援内容の説明を行い、家族から同意を得ているか。	○			面談の際に計画を説明し、ご意見を伺った上で計画を確定しています。	
	35	定期的に、家族等から悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			送迎時やSNS、電話など、様々な機会やツールを用いて必要時にご相談いただける体制を取っています。	
	36	父母の会の活動を支援することや、家族会等を開催する等により、家族同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			家族交流会を開催し、ご家族同士やきょうだい同士で交流する機会を設けました。	
	37	利用者や家族等からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、利用者や家族等に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			送迎時やSNS、電話など、様々な機会やツールを用いて必要時にご相談いただける体制を取り、相談に対応しています。	
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を利用者や家族等に対して発信しているか。	○			毎月「あかさくだより」を発行する他、Instagramを不定期に更新しています。	
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			法人内の個人情報漏洩事故等の事例を共有するなど、危機意識を持って業務に従事しています。	
	40	障害のある利用者や家族等との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			選択肢の提示方法や話す速度、言葉の難易度等を意識しています。	

	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	<input type="radio"/>			事業所のイベントではありませんが、事業所が所属する「風の村作草部」として主催するイベントを地域の方にもご案内しています。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>			すべてのマニュアルを策定し、ご家族等に案内し、訓練を行なっています。	
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>			BCPの研修・訓練、避難訓練等は問題なく行なっています。	
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の利用者の状況を確認しているか。	<input type="radio"/>			アセスメントやモニタリング面談時にご家族から情報をいただいています。	
	45	食物アレルギーのある利用者について、医師の指示書に基づく対応がされているか。	<input type="radio"/>			アレルギー時の対応がある方については指示書に情報を記載いただいています。	
	46	子ども支援の事業においては、安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>			安全計画を作成し、計画を遂行できるようにしています。	一年目だったため不必要な内容等もあったため、次年度は精度高い計画を作成します。
	47	子ども支援の事業においては、子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>			安全計画を作成し、ご家族と共有しています。	
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>			ひやりはっとはその日のうちに方策を検討するとともに職場会議で必ず共有しています。	
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>			研修の実施、身体拘束時の記録の徹底等に取り組んでいます。	
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、利用者や家族等に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>			研修を実施し、同日に改めて各利用者の対応について意見交換し、ご家族に説明の上で個別支援計画に反映させています。	

## 事業所における自己評価総括表

公表日：2025年 3月 20日

○事業所名	生活クラブ風の村あかとんぼ作草部			
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		～	2024年 12月 25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	2024年 12月 25日		～	2025年 1月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数)	11
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 28日			

### ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ご家族との情報共有や交流の機会に恵まれ、不明な点があればすぐにお尋ねできる環境が整っています。	事業所の取組みや活動内容、支援で大切にしている視点をご家族と共有するため、当日の様子や活動内容等を送迎時に丁寧に説明しています。また、ご家族とたくさん話をすることで、ご家族の考えを理解できるようにしています。	活動の様子をご家族に知っていただき支援や育児について意見交換する機会をさらに増やすため、希望するご家族が参観できる機会を設けます。
2	利用者像をイメージしながら活動内容を考えられるよう、活動会議を毎月開催しています。	活動会議の中で個々の利用者の身体等の状況に応じてどのようにアプローチするか意見交換しています。また、その内容に基づいて手順書を作成することで、会議に参加していない職員も活動支援できる環境を整えています。	利用者がより主体的に楽しく活動に参加するため、個々の利用者の機能や好み等のより細かなアセスメントと、その内容を誰でも理解し活かせるシステム（書類整備・情報更新等）づくりに取り組みます。
3	職場会議が、事業所運営について職員が自由に意見交換し改善に向けた方策を定める場になっています。	ひやりはつや利用者事故、毎月の振り返り、ケアカンファレンスをすべて職場会議で行っており、活発に意見交換することができています。	会議の場で方策を決定する際、担当者や期限を明確にして、さらに物事が適切に進められているかをチェックすることで決定事項を確実に遂行することができるようにします（PDCAの「C」を確実に！）。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	会議で決めたいけどできていないということが間々見受けられました。	会議で決定したことを実行する担当者や期限が不明確でした。さらに途中段階でのチェックが適切に行われていませんでした。また、非常勤職員が多く、やりたいことの量と人手が見合っていませんでした。	会議の場で方策を決定する際、担当者や期限を明確にして、さらに物事が適切に進められているかをチェックすることで決定事項を確実に遂行することができるようにします（PDCAの「C」を確実に！）。
2	活動支援に必要なアセスメント内容が不十分でした。	アセスメントそのものが不十分だったこと、アセスメント用紙が見づらく情報収集には適切とは言えません。	アセスメント項目の見直しを行うとともに、活動支援に必要な情報が一目瞭然に読み取れる書式を作成します。
3	個別支援計画を意識したケアの徹底が不十分でした。	どちらかというと活動内容や現場運営に目がいかってしまい、個別支援計画を意識する取り組みが不十分でした。	個別支援計画の内容が一目瞭然に読み取れるための工夫を行ないます。また、朝礼時に当日の支援内容等を共有するとともに、個別支援計画内容も共有します。

## 2024年度 生活クラブ風の村あかとんぼ作草部 利用者アンケート結果

アンケート実施期間：2024年12月1日～12月25日

回収数／配布数：10／14

回収率：71%

### 《環境・体制整備》

※下段の（ ）内は回答数です。

No.	設問	はい	いいえ	どちらとも いえない	無回答
1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100% (10)	0% (0)	0% (0)	0% (0)
2	職員の配置数は適切であると思いますか。	90% (9)	0% (0)	10% (1)	0% (0)
3	事業所内は子どもたちが主体的に過ごせるような工夫(配置・掲示等)がなされていると思いますか。また、事業所の設備等は障害特性に応じてバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100% (10)	0% (0)	0% (0)	0% (0)
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	90% (9)	0% (0)	10% (1)	0% (0)
【「環境・体制整備」に関するご意見】					

### 《適切な支援の提供》

No.	設問	はい	いいえ	どちらとも いえない	無回答
5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100% (10)	0% (0)	0% (0)	0% (0)
6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	支援プログラムが未完成のため、今年度、当該項目については調査対象外としました。			

7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で個別支援計画が作成されていると思いますか。	100% (10)	0% (0)	0% (0)	0% (0)
8	個別支援計画は、「本人支援」「家族支援」「移行支援」の各項目において必要で適切な目標と具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	90% (9)	10% (1)	0% (0)	0% (0)
9	個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	100% (10)	0% (0)	0% (0)	0% (0)
10	事業所の活動プログラムは一定の目的を持って適切に行われ、こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせ、固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100% (10)	0% (0)	0% (0)	0% (0)
11	事業所の利用者以外のこどもと活動する機会がありますか。	80% (8)	10% (1)	10% (1)	0% (0)
【「適切な支援の提供」に関するご意見】					
.					

《保護者への説明等》

No.	設問	はい	いいえ	どちらとも いえない	無回答
12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100% (10)	0% (0)	0% (0)	0% (0)
13	個別支援計画を示しながら支援内容の説明がなされましたか。	90% (9)	0% (0)	10% (1)	0% (0)
14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	100% (10)	0% (0)	0% (0)	0% (0)
15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	100% (10)	0% (0)	0% (0)	0% (0)

16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100% (10)	0% (0)	0% (0)	0% (0)
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100% (10)	0% (0)	0% (0)	0% (0)
18	保護者会・きょうだい向けイベントの開催等により、保護者同士・きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、家族支援・きょうだいへの支援がされていますか。	90% (9)	0% (0)	10% (1)	0% (0)
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100% (10)	0% (0)	0% (0)	0% (0)
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100% (10)	0% (0)	0% (0)	0% (0)
21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	100% (10)	0% (0)	0% (0)	0% (0)
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100% (10)	0% (0)	0% (0)	0% (0)
【「保護者への説明等」に関するご意見】・					

《非常時等の対応》

No.	設問	はい	いいえ	どちらとも いえない	無回答
23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	100% (10)	0% (0)	0% (0)	0% (0)

24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	90% (9)	0% (0)	10% (1)	0% (0)
25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	90% (9)	0% (0)	10% (1)	0% (0)
26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	70% (7)	0% (0)	30% (3)	% ( )
【「非常時等の対応」に関するご意見】					
.					

《満足度》

No.	設問	はい	いいえ	どちらとも いえない	無回答
27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100% (10)	0% (0)	0% (0)	0% (0)
28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	100% (10)	0% (0)	0% (0)	0% (0)
29	事業所の支援に満足していますか。	100% (10)	0% (0)	0% (0)	0% (0)
【「満足度」に関するご意見】					
・起きてる時は、いつもいい表情で帰宅するので、楽しかったのが伝わります。					

《その他のご意見》

<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも温かく見守ってくださってありがとうございます。こどもにとって、あかとんぼ作草部は安心して過ごせる場所です。あと2年ちょっとしかありませんが、よろしく願います。</li> <li>・いつもありがとうございます。</li> <li>・利用者、保護者ともに、大変満足して利用させていただいています。今後ともよろしく願います。</li> </ul>
---